

日本共産党杉並区議会議員

こんにちは  
1月号

# 酒井まさえ



2024年1月10日 連絡先日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2320) 区議会 3312-2610 です  
[sakaimasae.0507@gmail.com](mailto:sakaimasae.0507@gmail.com) 090-9325-5676

## 物価高騰 区民のくらしを守る 能登半島地震 震災対策の強化に全力



4日 阿佐ヶ谷駅で救援募金活動

### お知らせ

#### 中小事業者への光熱費支援は 2月末まで申請期限が延長！！

12月12日、党区議団は、区長に「杉並区中小企業光熱費高騰緊急対策助成金」の申請期限の延期延長をするよう申し入れました。

その後、区は2024年2月末まで延長することを発表しました。

#### 「杉並区中小企業光熱費高騰緊急対策助成金」コールセンター

0120-270-094

受付時間8:30~17:15(土日除く)

引き続き、救援募金に取り組むとともに、杉並区に対して、耐震化・不燃化の促進、被害想定や避難所受け入れ等の総点検を行うなど、震災対策の強化を求めていきます。  
**暮らしを守り 希望が持てる政治に転換を**  
岸田政権は、国民の暮らし、経済には無策のまま迷走し、物価高騰の特効薬である消費税減税には背を向け続けています。こうしたもつで、日本共産党区議団は、

募金は郵便振替でも受け付けています。

#### 郵便振替

口座番号 00170-9-140321

加入者氏名 日本共産党災害募金係

通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

引き続き、救援募金に取り組むとともに、杉並区に対して、耐震化・不燃化の促進、被害想定や避難所受け入れ等の総点検を行うなど、震災対策の強化を求めていきます。  
**暮らしを守り 希望が持てる政治に転換を**  
岸田政権は、国民の暮らし、経済には無策のまま迷走し、物価高騰の特効薬である消費税減税には背を向け続けています。こうしたもつで、日本共産党区議団は、

### 自転車ヘルメットの購入費助成のご案内



道路交通法が改正され、昨年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりましたが、着用率はまだ低い状況です。

杉並区は、ヘルメット着用促進と、交通事故による被害軽減を図るため、昨年11月ヘルメット購入の助成事業を開始しました。

ご活用ください。

#### 問い合わせ

杉並区土木事務所交通安全係

☎ 03-3315-4178

#### 対象者・助成上限額

○区内在住の方 = 3000円

○区内在住で講習会を受講した18歳以上の方、講習会を受講した区内事業所 = 5000円

#### 対象購入期間

2023年11月1日~2024年3月17日

#### 購入方法

販売協力店で安全基準を満たしたヘルメットを購入する時に、購入申請書を書いて、身分証明書、講習会受講者は受講証を提示すること。販売店で代金から差しひかれます。

### 酒井地域 新春のつどい

2月23日(金)祭日 午後1時から

場所 東京土建会館

#### 話題の赤旗日曜版

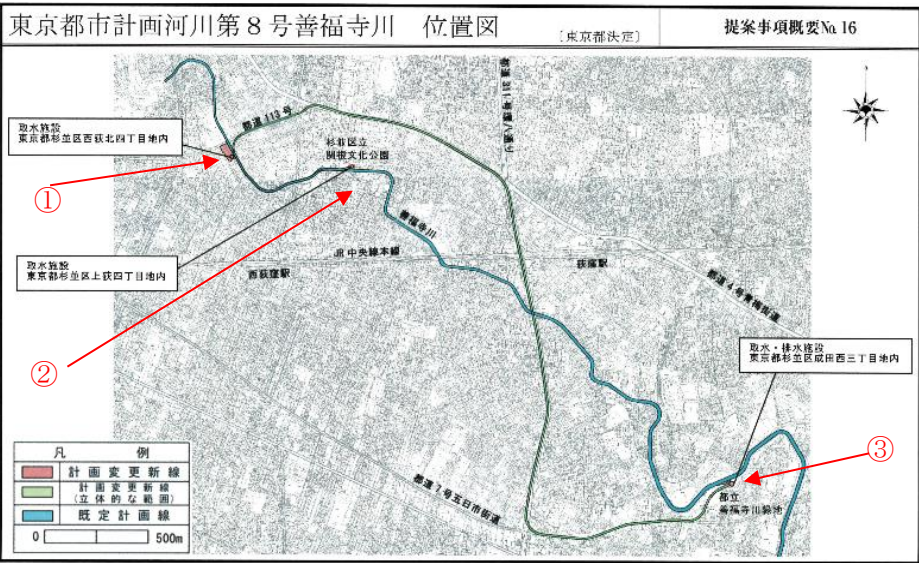
お話 山田健介記者(テスク)

「自民党の裏金疑惑について」

ミモザコーラスの友情出演もあります。



# 善福寺川水害対策は住民合意に基づく計画を



この地図は、国土院部長の承認(平成24年6月9日)を経て作成した都市計画部図(5-1:2,500)全使用(5部主要第817号)として作成したものである。無断複製を禁ず。(複製番号)4部主要第278号、令和5年2月1日

昨年11月の議会で善福寺川の治水対策として検討が進められている「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更素案」について、山田区議が一般質問しました。

## わずか3か月で素案から案へ 拙速な計画は許されない

本年8月下旬、(仮称)善福寺川上流調節池に関する住民説明会が開催されました。変更素案では、善福寺川の治水対策のために、善福寺川上流地域に雨水を貯める地下調節池を整備することが示されました。地下調節池は、①原寺分橋付近、②区立関根文化公園、③善福寺川緑地の3カ所と、それらを繋ぐ河川地下、女子大通りから青梅街道、環状8号線、五日市街道といった道路の地下にまたがる大規模なものとなる

ります。同計画は近隣住民の生活や公園利用者への影響も甚大です。

ところが、住民への情報提供は極めて不十分でした。

さらに、8月下旬に変更素案が示され、わずか3か月後の11月30日には都議会都市整備委員会に「素案」が「案」に格上げされることになり、拙速な進め方に対する懸念の声も広がっています。

一方、同時に都は来年2月に東京都市計画審議会を開催する方針を決め、関係者への資料や情報提供を始めています。

## 住民の立場で

### 主体的に対応を

山田区議は、住民に情報を公表しないまま計画決定を拙速に進めることは問題であり、杉並区が基礎自治体として、地域主権に基づき主体的に対応することを求めました。担当部長は「地元自治体として、地域住民に寄り添った丁寧な説明や必要な情報の提供をこれまでに以上に都へ求める」と答弁しました。

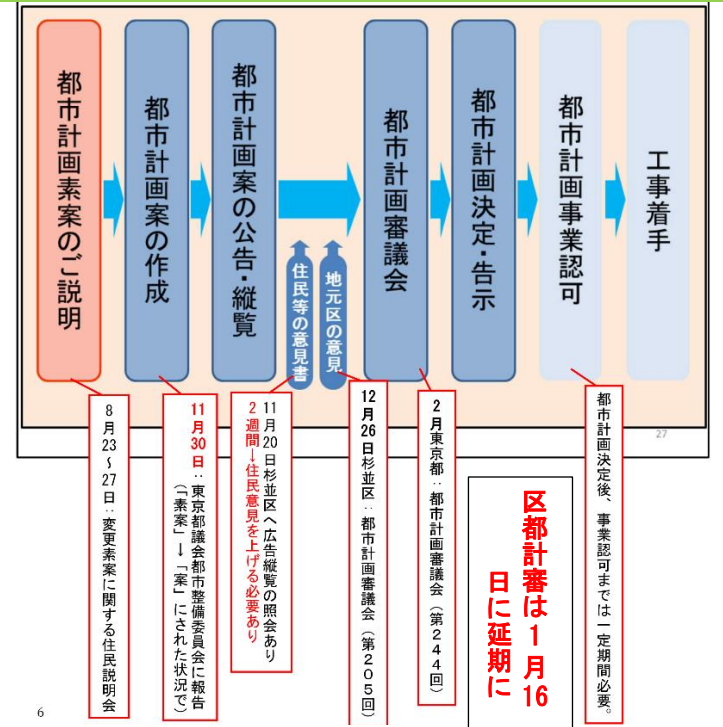


元旦は、大宮八幡にて原田都議、富田区議と新年のあいさつをしました。

その後、私は、栃木の88歳の母に会いに行きました。母は1人暮らしをしています。元気にしていました。安心しました。



## 異常に拙速な手続きの実態について



地下調節池が計画されている3カ所の住民は、「工事計画を一旦停止し都民との対話を求める」署名に取り組んでいます。署名は、1月7日時点で、3672名余、オンライン署名1万1563名に達しています。また、杉並区には要望書、東京都には署名を届け、陳情書も提出しています。

## 健康の話 免疫力について

日本のナイチンゲールと言われる、川嶋みどり先生からのアドバイスです。

異変を感じたら、生活習慣を見直してみてください。これが健康を取り戻す基本です。

たとえば、「胃が重い」と感じたら、食過ぎを疑って、夜食を控える。

日中に「だるさを感じたら、睡眠の質の低下」を疑い夜のスマホをやめる。

「イライラする」と感じたら、「呼吸の浅さ」を疑い、深呼吸を繰り返してみる。

とても簡単なことですね。でも多くの方が、忙しい毎日の中で気づかなくなっています。気づいても放っておいています。

「たいしたことない」と思ったり、「わかっているけど、やめられないんだよ」などと自ら言い訳をして、健康を害す生活をしてしまう。そして病気を引き起こしてしまいます。

つまり、多くの病気は、自分でつくっているわけです。

こんな話をすると、次のような反論があります。

「でも、病気は外的な原因もあるでしょう。たとえばウイルスとか?」

はい、その通りです。しかし、日々の生活習慣が保たれていれば、ウイルスを撃退することができます。人間には免疫機能が備わっていて「治る力」が働くからです。

ウイルスは、宿主がいないと生きていきません。しかし、宿主が健康なら、ウイルスが入ってきても撃退することができますし、たとえ発症したとしても、軽症ですむのです。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

(「長生きは小さな習慣の積み重ね」から)

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

(「長生きは小さな習慣の積み重ね」から)

